

編集後記

ロシアの暴挙が止まりません。少なくともこの原稿を書いている3月の半ば過ぎの話ですが。いったい、2022年の年頭にこのような事態に陥ることを誰が予想できたでしょうか。「プーチンの思考回路にもとづけば想定内のことでした」と一部の政治アナリストは言うかもしれませんが。子供の頃(といっても中学3年生)からムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」の中に「キエフの大門」なる曲があることは知っていましたが(といってもクラシックとしての知識ではなく、プログレロック由来)、そのキエフを首都とする国の惨状を映し出すTV画面はとても現代のそれとは思えません。

しかし、です。ウクライナへの侵攻が始まった当初、あるコメンテーターが述べていましたが、今回はたまたま距離的にも西欧に近い、しかも西欧社会に寄り添おうとしている白人社会に対してあのロシアが襲いかかったから衝撃の出来事として我々に大きなインパクトを与えているものの、考えてみればチェチェンと言うに及ばず中東やアフリカでも同じような侵略はつい最近も起こっていたわけで、それらについては詳

細な情報や映像が届いていないから我々のセンサーにはあまり響いてこなかっただけで、事の本質はあまり変わらないのでは、とのこと。いずれにしても国際社会は微妙なバランスのもとにろうじて平衡を保っているだけで、実は非常にフラジャイルなものであることを改めて思い知らされることになりました。

さて、今回の特集では昨年のノーベル生理学・医学賞の受賞で一躍話題となったTRPチャネルを軸に、眼組織に関わる最新の研究成果をわかりやすく解説していただいています。眼科領域だけでもTRPチャネルがこれほど関わっていたことを勉強させていただく良い機会となりました。TRPチャネルを制御する新薬の開発によって水晶体の恒常性、特に核硬化の抑制に繋がる点眼薬が登場すれば、今もパソコンから距離を遠ざけつつキーボードを打つ不自由から解放されるでしょうか。それよりも多焦点レンズか適度の近視に術後屈折度数を設定した単焦点レンズを用いた白内障手術を受けるほうが先でしょうか。前者に期待したいところです。

(後藤 浩・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：所 敬・小口芳久・白井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第64巻 第4号 4月号

2022年4月5日発行(毎月1回5日発行)

定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%)

年間講読料金

定価 46,310 円(本体 42,100 円+税 10%)

[年間13冊(臨時増刊号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。